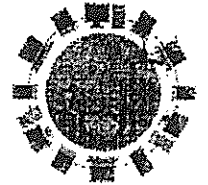


# 第1回家庭教育学級を振り返って

家庭教育学級長 市瀬 / 副家庭教育学級 荒木

6月17日（金）に第1回家庭教育学級が開催されました。  
テーマは『今一度、考えよう子供の防犯』  
講師 北沢警察署スクールサポーター鎌田様、板倉様  
来賓として世田谷区教育委員会 社会教育指導員の杉本様をお招きいたしました。



まずはネットに関するDVD『家庭で見守る子供のネット利用』を視聴しました。  
インターネット上のトラブル、危険性や過度の利用による被害についての内容でした。

ふりかけ(保護者向け)	ソルト(青少年向け)
「ふ」→ フィルタリングをしましょう	「ソ」→ 相談をする
「り」→ 利用状況を把握しましょう	「ル」→ ルール、マナー、法令を守ろう
「か」→ 家庭でのルール作りをしましょう	「ト」→ 匿名でない事を理解する
「け」→ 携帯型ゲーム機もネット接続が可能です	相手を特定する事が可能

『ふりかけソルト』を合言葉にネット犯罪から子供たちを守りましょう。  
また、ネットトラブルについて相談出来る東京こどもネット・携帯トラブル相談サイト『こたエール』も是非ご利用してみてください。  
DVDは10分程度と短いながら内容は充実したもので、アンケート結果でも『掘り下げて話を聞きたかった』との声を多く頂きました。

## 防犯のお話について

『点と点が線となる』と言うお話では、子供の朝の見送りをする際、親が玄関の外まで出ること。パトロールの際、ただ歩くだけではなく特定の場所で暫く留まり子供を見守る。  
上記の行動を多くの親がとることにより、点が線で結ばれ犯罪の抑止力になると教えて頂きました。

お祭りの時など子供だけでお金を持って出掛ける時は、小銭を入れて持たせるようにすると良い。  
お札を持つ事により、恐喝に遭う可能性が高くなるとの事でした。

不審者に声を掛けられたら110番通報を。

実害がなくても警察が情報を集め探し出して下さるそうです。

教育委員会の杉本様も声掛けされた事によるトラウマを危惧されておりました。

その時は大丈夫でも、自分自身が気がつかない内に心に傷が出来てしまうこともあります。

今回のお話を聞いて「怖かった」「イヤだった」など子供が素直に大人に話せる環境作りもかかせないと感じました。

その他としては公衆電話の設置場所及び110番の掛け方について話し合いがされました。

ご参加して頂いた皆さま有難うございました。

